

## 29年度 保護者アンケート集計結果について

平成30年3月13日  
各務原市立稲羽西小学校

番号	評価項目
①	本校は、保護者が学校の教育内容や指導について理解できるよう、学校だより・学年だよりやホームページ等で情報提供に努めています。
②	本校は、「担任だけでなく、全職員で全児童を指導する。」という体制で、「いじめ等生徒指導に関わる指導」を素早く対応しようと努めています。
③	本校は、児童一人一人の基礎的・基本的な力を身に付けさせたり、望ましい人間関係を築いたりするため、朝の活動に、計画的に算数、読書、ブレインジム・ソーシャルスキルトレーニングを実施しています。
④	本校は、児童一人一人が「できた」「わかった」といえる授業にすため、児童相互の交流の時間を保障したり、高学年での教科担任制、3年以上の算数での少人数指導に取り組んだりしています。
⑤	本校は、児童の安全を確保するため、命を守る訓練を状況に合わせて実施するなど安全教育を進めたり、校舎内外の環境整備を進めたりしています。
⑥	本校は、児童一人一人に「豊かな心」「ボランティア精神」を育むため、ボランティア手帳を活用して指導を進めています。
⑦	本校は、稲羽中校区コミュニティスクールとして、小中学校の連携(中学校体育祭・合唱発表会への参加、中学教師による指導、ようこそ先輩の授業など)、地域との連携(見まもり隊、放課後学習室、子ども教室、稲西学級、読み聞かせ等のボランティアによる指導)を大切にしています。
⑧	教職員は、児童の困り感に寄り添い、学習や生活の場面で快適に活動できるよう、教室環境の整備、声のかけ方など、ユニバーサルデザインの視点を大切にした指導に努めています。
⑨	教職員は、保護者の問い合わせや来校に対して、誠意ある態度で対応しています。

設問	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
満足	200	160	184	187	187	178	208	176	185
満足できない	14	23	14	8	15	34	8	23	17
総数	214	183	198	195	202	212	216	199	202
満足度	93.5%	87.4%	92.9%	95.9%	92.6%	84.0%	96.3%	88.4%	91.6%

⑩	来年度、本校の教育に一番力を入れてほしいことは何ですか。下のア～スの中から特に必要と思われる3つを選んで記号で答えてください。					
	ア 基礎的・基本的な学力		イ 発展的・創造的な学力		ウ 考えや意見を表現する力	
	エ 他人を思いやる温かな心		オ 自他の生命を尊重する心		カ 時間等基本的な生活習慣	
	キ 挨拶、言葉遣い等の礼節		ク ルールやモラルを守る規範意識		ケ 自主・自立の精神	
	コ 個性の伸長		サ ボランティア精神		シ 体力づくり	

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
98	45	100	119	41	17	75

ク	ケ	コ	サ	シ	ス
42	43	24	3	29	3

(競争心・コミュニケーション力・いじめ)

30年度に向けて、保護者の皆様が期待する教育の方向性を教育計画に盛り込んでいきたいと考えています。今後とも、ご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 児童、保護者、学校等で共通内容のアンケート項目を設けること。
- 授業参観等、学校へ足を運んでいただく機会については、極力偏りのないよう、年間計画を作成すること。
- 子どもを中心に、担任と保護者との連携を強化するため、個人懇談のあり方を見直すこと。
- 「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう、一時間の授業過程を見直すこと。
- 家庭・学校と学びが連続するように家庭学習のあり方を見直すこと。

### 【考察等】

○アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートは、最長子配布とし、回収数は216、回収率は73.5%でした。

○「満足できる」「概ね満足できる」の合計の割合を「満足度」として数値化しました。

○設問②、⑥、⑧については、満足度が他の設問に比べて低い数字となっています。

②について…

いじめ等生徒指導にかかる指導について、全校体制で取り組むことや素早く取り組むことへの更なる取組が期待されています。いじめ等の事案について、早期発見・対応を図るとともに、未然防止に努める必要があります。そのためにも、学級内での望ましい人間関係づくりやご家庭との連携も重要となります。

⑥について…

ボランティア手帳につきましては、2月23日に教育長さんによる50回認証式を本校体育館で行っていただきました。認証児童は80%に達しています。この手帳を活用しながら、「誰かの役に立つこと」の素晴らしさに気付き、自ら進んで取り組もうと努める意欲を育む指導を今後さらに充実していきます。

⑧について…

ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた教室環境の設定、ブレインジム等、可視化できるところより改善に努めてきました。また、授業の中では、誰にとってもあったらよいと思われる支援の工夫を考え、行ってきました。今後はさらに児童一人一人の「困り感」に寄り添う指導に徹していけるよう、職員研修や授業改善研修に努めていきます。

⑩について…

「学校教育に力を入れてほしいこと」として、エ・ウ・ア・キを選択される回答が多くみられました。中でもエの「他人を思いやる温かな心」の育成については、最も願いの高い項目となっています。

本校の教育目標は「豊かな心で、ねばり強くやりぬく子」であり、稲羽西小学校では、「豊かな心」の育成を長年にわたって学校の課題として意識してきたもので、「思いやりの心」にあふれた子どもに育ててほしいと強く願っています。

そのためには、まずは自分自身を大切にすることが必要です。基礎的・基本的な学力を身に付けること、自分の考えをしっかりと述べることは、自信をつけることにつながります。自己肯定感が高まれば、やる気がみなぎり、他者への思いやりの心にも影響を与えます。

裏面には、アンケートでいただきましたご意見について、掲載させていただきました。

## アンケートご意見

### 登校・あいさつ

・旗当番のとき、班長が「ありがとうございます」と声をかけてくれうれしい。班長以外もあいさつができるように。止まってくれた車にも「ありがとう」と声かけられるといい。

・朝のあいさつ、通学班の列の乱れなど、もっと学校や町内で徹底して指導してほしい。

・もう少し誰にでもあいさつができるといい。子ども達からのあいさつの声が少ない。

→朝のあいさつは、一日の始まりとして大切です。現在「あいさつマイスター」の取組を行い、校内だけでなく、地域に広がるあいさつの輪をめざして活動をしています。「あいさつ」は、学校・家庭・地域が力を合わせて取り組んでいかなければ、定着は難しいようです。あいさつあふれる素敵な稲羽西校区になるよう、ご家庭でも引き続きご指導をよろしくお願いします。

### 年間行事等

・個人懇談の連絡方法が特にそうだったが、今年度は保護者への配慮が今までに比べてないように感じた。懇談の一方的なスケジュール決めは横着な気がする。

・12月の授業参観と、11月の稲西学級が続いたこと、12月8日を1日に変更されたので、仕事の都合を付けるのが大変だった。中学校との調整をしていただきたい。

・5年の宿泊研修は、毎年2泊3日だが、1泊2日となった。どうしてか。

・運動会での町内毎の観覧席、町内の人数に差があるので、割り振り等を見直していただきたい。

・運動会で入場門がなかったのは寂しい感じがした。門があってもいいと思った。

・修学旅行、社会見学、宿泊研修時、帰りの時間などメールでの連絡してほしい。

→お仕事の関係上、ご迷惑をおかけしました。行事が重ならないよう極力努めていきます。小中学校での調整をしっかりと行います。宿泊研修は、授業時数の確保のため、一泊二日としていること、運動会の入場門は、児童等の準備時の安全を考えて設置しない判断をしました。

### ボランティア手帳

・書くことだけが目的になっている子、書くことが面倒になっている子など個人差が大きいと感じる。

・ボランティア手帳について、手帳がボランティアの心のきっかけとなることは感じるが、手帳には書いてなくてもボランティアの心がある子もたくさんいる。ノルマのようになることは本意ではないと感じる。

→ボランティア手帳の取組を通して、自己有用感を育てていくことをねらいとしています。個人差はありますが、この活動で、認められる機会が増えたことで自信がもてるようになった子も出ています。

### HP等の情報提供

・HPの更新が余りされていなくて、リアルタイムで学校の様子、子どもの様子がわからない。

→できる限りホットな情報をお届けできるよう努めていきます。

### 安全・安心について

・北門前の県道が危ない。下校時、見まもり隊、旗当番もいないので、1、2年生の横断に、先生が旗を持って渡らせてほしい。

・「命を守る訓練」について、登下校中に大地震の発生やJアラートがなったらどうするか等、適切な行動がとれるか心配だ。

・下校時刻が守られておらず、帰宅が遅い。

・ビオトープの橋等が壊れかけている部分があり、気になる。

→現在下校時に見守っていますが、さらなる必要に応じてPTAの皆様のお力を貸していただくことも検討してまいります。また、命を守る行動がいつでもとれるよう、訓練等を「登下校時」にも拡大していきます。下校時の道草等についても指導していきますが、どうかご家庭でもご指導をお願いします。ビオトープの危険な橋は撤去しました。安全面でお気づきの点がございましたら、教えてください。

### 家庭学習

・カド・ケドだけ3、4回やったところで単なる作業。学力向上に効果的な問題を取り組むとかの工夫が必要ではないか。宿題等の指導法について、統一していただきたい。

→ご指摘ありがとうございます。家庭学習の意義を明確にして、家庭学習と学校の授業がつながっていく家庭学習のあり方を検討し、「手引き」を見直したり、使用教材を見直したりします。

### 稲西学級

・稲西学級の時の下校、親と一緒に下校か、それとも子ども達で下校なのか。いつも曖昧。

→一斉下校で、子ども達で下校します。よろしくお願いします。

### PTA

・PTAのことだが、地域によって、旗当番の回数に差がありすぎるように思う。

・授業参観中、参観者が写真や動画を撮影することを自粛するを呼びかけてほしい。プライバシーの問題も在るし、シャッター音などで子ども達が集中できないように思う。保護者側が気をつけるべきことだが、学校側からも呼びかけていただきたい。

・子どもががんばっていることなどをプレゼンするような三者懇談はどうか。

→実行委員会等で検討をしていただくよう今後お願いしていきます。

### 授業について

・多様性を認める寛容な社会を将来育んでいけるような教育をしてほしい。

・答えありき、または答えを導くような授業ではなく、多様な意見を引き出すような道徳の授業を望みます。

→全ての教育活動を通して思いやりあふれる子ども達に育てていきます。平成30年度より、「考え議論する道徳」へと、授業改善を図っていきます。

### 日課等・学校生活について

・太陽の時間は外遊びをと聞いているが、図書館へ休み時間に行ってはいけなないか。できれば開放してあげてほしい。

→「太陽の時間」については、元気よく外遊びをして体を鍛えることを目的にしています。昼休みについては、自由としていますので、図書館利用も可となっています。

### 生徒指導・生活指導等

・いじめやことばの暴力に対する生徒や保護者との交流や話し合いも足りない。前校長はもつといじめに対する取組を丁寧になされていた。いじめや不登校等、子ども達の悩みをなくすという意味で、努力されることを切に願う。

・いじめ等被害者への心の支えについて、全職員でやっていただきたい。

・学校でのトラブルや怪我等について、子どもからの情報だけでなく、密に連絡を取れるようにしたい。

・学校で起こったいろいろなことを電話で報告していただけてとてもありがたいが、先生の仕事を増やしているように思う。ちょっとしたことなら、子どもに「家の人に話すように」と伝えてもらえればよいかと思う。遅くまで学校に電気がついているので、先生方が早く帰られるようになるといいと思う。

・ちょっとしたことでも先生から声をかけてもらえると子どもが自信を持てるようになる。一人一人に寄り添うことは難しいとは思いますが、今後ともちょっとした成長・変化を感じて指導をお願いしたい。

・学級崩壊という言葉をよく耳にするが、このようなことはないのか。稲西の子は素直でよい子達だが、もし生じたらどう対応するのか。

→いじめ等を見逃さない鋭い感性を教職員一人一人がしっかりと身につけるよう研修を行ってまいります。いじめ防止対策委員会及び、教職員間の児童理解交流を定期的に位置付け、全職員で情報を共有するとともに、全職員で対応していく「チーム稲西」を創り上げていきます。

お子様の健全育成には、担任と保護者との連携がなくてはなりません。お子様を中心に据え、双方の意